

平成19年を
振り返って

市民のみなさま 今年も市政へのご理解とご協力ありがとうございました



今年一年を振り返って

2007年も師走を迎え、街は新年の準備で活気にあふれております。
「市民との協働によるまちづくり」を掲げて取り組んだ今年は、様々な面で市民との協働の取り組みが広がった1年だったと思います。道路や公園の清掃・管理、廃食用油の回収やレジ袋の削減、マイバッグの持参促進などの環境保全活動、がんじゅう応援隊、カーフリーデーの実施と、協働の取り組みは、市民、自治会、NPOそして企業等との間に着実に広がっております。
また、4月の教科書検定における沖縄戦記述の見直しに端を発した県民運動は、9月の「教科書検定意見撤回を求める県民大会」となっており、国に沖縄県民の平和への思いを伝える大きな力となって結実いたしました。これも自治体の垣根を越えた協働の取り組みのひとつと捉えることができると思います。
住民の力の結集は、大きな力であり、協働の力は、本質的には住民自治という理想の自治に通ずるものであると考えております。本市の各地に根付きつつある協働の取り組みは、今、点と点が結ばれて線となりつつあり、これがさらに様々な形で結ばれて網の目のように那覇市全体を覆っていき、活力あふれる理想の都市づくりが実現するのではないかと思います。
先月末、本市は、自らの創意工夫により優れた施策を実施し、地方自治の充実発展に寄与したとして、「地方自治施行60周年記念総務大臣表彰」を受賞いたしました。市民の皆様と受賞を祝い、風格ある県都・那覇市の実現に向けて、今後とも共に歩んでまいりたいと思います。

那覇市長 翁長雄志

1月

- 4日 ●平成19年新年祝賀名刺交換会
- 5日 ●平成19年那覇市消防出初式
 - 市内小中学校で学校敷地内禁煙がスタート
 同月より、市内の小中学校で学校敷地内では来訪者を含めて全面禁煙が始まり、校内には禁煙を呼びかけるポスターが貼り出され、学校を訪れる人々へ協力を呼びかけた。
- 7日 ●平成19年成人式
- 12日 ●与儀小学校で人権教室開催
- 21日 ●第30回那覇市民バザール
- 24日 ●福地家に伝わる紅型や絣衣裳などの寄贈

那覇市土族貝氏(ばいじ)の福地家に伝わる染織品73件、焼物18件、漆器4件など、合わせて97件の品々が、福地唯次郎(ふくちただじろう)さんから市に寄贈された。
- 26日 ●識名園で防火訓練



貴重な文化財を災害から守り、文化財愛護思想の高揚を図ることを目的に毎年実施されてる(26日)

2月

- 3日 ●第28回那覇市生涯学習フェスティバル
- 9日 ●証明書広域自動交付機サービス開始

市と南風原町が、両市町の住民が互いの市町で住民票や印鑑登録証明書などを広域自動交付機で受け取るサービスを開始した。
- 11日 ●国際通りでトランジットモール実施

街の活性化と排気ガスなどの環境改善のために、毎週日曜日を車両乗り入れ禁止とするトランジットモールの4月からの本格導入に向けての取り組み。
- 21日 ●消防本部 N C 災害対応訓練

万が一の事故などで、放射能汚染による二次災害を防ぐために、事故現場周辺を封鎖するとともに、負傷者の救出や放射線の量を測定する専用の機器などを使い、路上に散乱した放射性物質を慎重に回収する訓練が実施された。
- 24日 ●那覇市青少年舞台プログラム成果発表



地域や学校で学習活動をしている子どもたちが、舞台発表や作品の展示を行い日ごろの活動の成果を発表した(3日)

3月

- 5日 ●沖縄文学界の第一人者船越義彰さん死去
- 8日 ●ゆいレール全線で、故障のため約一時間にわたリストップ
- 19日 ●3.19ミュージックの日お昼休みコンサート
- 27日 ●那覇エコアイランドが完成

県内では初めて、海を埋め立てて廃棄物を処分する施設、那覇エコアイランドが、那覇港に完成した。
- 29日 ●上下水道局新庁舎落成式
- 30日 ●高校の歴史教科書から集団自決革命を削除

文部科学省による検定で、平成20年の春から使用される高校の歴史教科書の集団自決の内容に修正意見が付けられ、国の審議会が旧日本軍による強制を削除するよう求めた。これに対し県内からは「史実を捻じ曲げようとしている」と一斉に反発の声があがった。



新庁舎は、災害時には水道ライフライン確保のための防災拠点としての役割を担うことが期待されている(29日)

4月

- 1日 ●「那覇市路上喫煙防止条例」施行

市内の路上で、歩きながらタバコを吸うことを禁止する条例が、4月1日から施行された。平成21年度からは、指定された場所での違反者には罰金が科せられる。
- 2007波の上ビーチ海開き
- 5日 ●那覇市ウォーキング協会からウォーキングマップ1,000部贈呈
- 10日 ●市内小中学校で入学式
- 19日 ●鯉のぼり掲揚式
- 22日 ●参議院補欠選挙投票日



子どもたちの夢がかなうよう見守るとともに、風を受けて空高く泳ぐ鯉のように、すくすくと育つことを願って行われた(19日)

5月

- 3日 ●第33回那覇ハーリー(～5日)
- 9日 ●那覇市公平委員会酒気帯び職員の処分軽減を決定

酒気帯び運転で検挙され、懲戒免職となった消防本部職員の不服申し立てに対し、那覇市の公平委員会は処分を、停職12か月に軽減する裁決を出した。
- 16日 ●元沖縄開発庁長官伊江朝雄さん死去
- 20日 ●那覇市制施行86周年記念式典

各分野で功績のあった市政功労者8名を表彰したほか、翁長市長自らが講師となって、市政への取り組みや財政状況などについて、講演を行った。
- 銘苅墓跡群が国の史跡に指定
- 30日 ●ごみゼロの日クリーン作戦



国際通りや沖縄通りの清掃活動を通して、ごみの減量や資源化、環境美化の大切さを道行く人たちにアピールした(30日)

6月

- 2日 ●第49回水道週間 in 那覇メインプレイス(～3日)
- 9日 ●平成19年度那覇市少年少女ドッジボール大会
- 22日 ●「廃食用油をリサイクル」市が自治会長会連合会と協定
- 23日 ●歴史博物館企画展「沖縄戦～那覇での戦闘～」(～27日)

慰霊の日にあたる6月期の企画展として、沖縄戦の中から主に那覇市域での戦闘状況の写真パネルや当時の資料を展示した同展を開催した。
- 26日 ●国民健康保険の特別調整交付金の算定に誤り発覚

国保の特別調整交付金の算定を厚生労働省が誤っていたことが発覚。市では、96年からの10年間で、不足額は総額でおよそ5億5千万円になることも判明。全額の補填を求める考えを示した。
- 30日 ●環境の杜ふれあい落成



会議室や研修室のほか、トレーニングルーム、岩盤浴、サウナなどを備えた複合施設・環境の杜ふれあい落成した(30日)

7月

- 1日 ●健康づくり協働事業「がんじゅう応援隊」出発式

市国民健康保険加入者の基本健康診査受診率を上げるためのボランティア団体「がんじゅう応援隊」の出発式が行われた。
- 8日 ●7月8日を「なはの日」に!

語呂合わせで「なは」と読める7月8日を「なはの日」と定め、多くの人が那覇について語り、那覇のことを想い、那覇を愛し、那覇のために出来ることを行ない那覇を再認識しよう、「なはっていいよね」をキャッチフレーズに、てんぶす那覇をメイン会場に様々なイベントが行われた。
- 10日 ●台湾からのクルーズ船歓迎式
- 18日 ●興南高校が24年ぶりに甲子園へ
- 21日 ●平成19年度「健康なは21」推進市民大会
- 29日 ●参議院議員通常選挙投票日
- 30日 ●那覇市の非常勤職員が給食費着服
 - 写真甲子園で2連覇の真和志高校が凱旋



健康づくりのために、いすに座りながらストレッチと筋力補強ができるフィットネスダンスなどが紹介された(21日)

8月

- 5日 ●2007夏祭り in 那覇「一万人のエイサー踊り隊」
- 6日 ●姉妹都市サンピセンテ市市長と市議会議長を那覇市国際親善名誉市民として顕彰
 - 第7回沖縄・那覇の観光写真コンテスト表彰式
- 11日 ●大雨で県内各地で冠水や土砂崩れなどの被害が発生

10日からの24時間雨量が、那覇市で292ミリに達するなど各地で大雨による被害が出たほか、安里川が氾濫し、住宅や店舗など、およそ100件が床上床下浸水の被害に遭った。また、この大雨により長田のマンション建設現場で地割れが発生、隣接するマンションの95世帯全てと付近の住宅合わせて104世帯に避難指示が出された。
- 20日 ●中華航空機が那覇空港で爆発炎上
- 22日 ●「環境と交通」生活の足を支える交通シンポジウム



那覇空港で、着陸直後の中華航空120便、ボーイング737型機が爆発炎上。乗員乗客あわせて165人は脱出して無事(20日)

9月

- 1日 ●第25回沖縄フェスティバル(～2日)
 - 地球温暖化防止ヘレジ袋有料化

資源の有効活用と地球温暖化防止を目的として、マイバッグの持参促進とレジ袋削減に向けた協定を、市と取り交わした市内スーパーで、レジ袋有料化の実証実験がはじまった。
- 4日 ●若狭幼稚園で津波発生を想定して避難訓練
- 22日 ●砕氷艦「しらせ」入港。一般公開

来年4月に25年間の砕氷艦としての歴史に幕を閉じる「しらせ」が、最後の来沖。一般に公開された。
- 29日 ●教科書検定意見撤回を求める県民大会が開かれた

平成20年から使用される高校歴史教科書の集団自決の内容から、軍命、軍関与の記述を削除した文部科学省の教科書検定意見の撤回を求める県民大会が、宜野湾市で開かれ11万5千人余の参加者が怒りの声を上げた。



参加した11万5千人余が検定撤回に向け怒りのこぶしを突き上げた(29日)

10月

- 8日 ●健康フェスティバル in なは
 - ふれあいジャズフェスティバル2007

沖縄戦の記憶を風化させることなく、平和都市・那覇を築き上げた先人たちの感謝と平和を願う、那覇平和芸術祭「ふれあいジャズフェスティバル」が行われた。
- 13日 ●第37回那覇まつり(～14日)
 - 字田原で不発弾処理

平成16年3月以来となる250キロ爆弾の不発弾処理が実施された。また、同月21日には首里儀保町でも、同じく250キロ爆弾の不発弾処理が、初めて沖縄都市モノレールを運行停止して実施された。
- 15日 ●第3回なは市民芸術展(～21日)
- 20日 ●平成19年度那覇市総合防災訓練



市民の芸術文化の向上発展並びに創作活動の奨励普及と創造性を高めることを目的に開催された(15日)

11月

- 1日 ●沖縄県立博物館・美術館開館(8面に関連記事)
- 3日 ●「琉球王朝祭り首里」古式行列・祝賀パレード
- 6日 ●奥武山野球場その他施設工事安全祈願祭
- 9日 ●防火ポスターコンクール表彰式
- 11日 ●2007那覇市環境フェア(1面に関連記事)
- 25日 ●第25回那覇市障害者運動会
 - 第23回うないフェスティバル



市民、県民が待ち望んだ県立博物館・美術館が開館。新しい沖縄の文化と歴史、芸術の拠点として期待される(1日)